



雑木林に囲まれ、すがすがしい空気と静けさが自慢の秋田カエル村 (秋田県西仙北町大沢 郷大場台で)

### 秋田

豊かな自然の中でのびのび生活。秋田県仙北町大沢郷の山村には、自分の所有する山林を提供した、同町大沢郷の田村治三さんが就任。現任、村民は二十五家族、栗原や大隈など、都市に住む人たちが、電気も無ければ、水道は雑木林と沢の流れ、それに炭焼き小屋、かやぶき小屋だけ。流行歌の歌詞ではないが、電気も無ければ、水道



### 自然の中で命の洗濯

ガスはほとんど無い。自然の中で暮らして、今の生活をカエリ(音)み、カエル(変える)として自然にカエル(帰る)ことが村民意識だ。一昨十月に建園、四十坪の山林が領土。園つくりを提案したが、同町刈野に住む佐々木正光さん(60)、「大自然に接する、大人も子供も生き生きとなる。自然の対

### 自然健康法を学ぶ

秋田 カエル村夏のつどい

「カエル村自然健康法を学ぶ夏のつどい」(秋田カエル村主催)がこのほど、秋田市のアキタニューグランドホテルで開かれた。カエル村とは、人間が物質文明に浸り切った現在の生活を省みて、今一度自分の生活を考え、生活をカエル(変える)ことが大切として名付けられた。そして、今年五月の「春のつどい」に続き二回目、有害物質が混入している危険な食品に上る被害を未然に防ごうという目的で開かれた。

会場には同市内ほもちろん、市外からも健康に気遣う主婦や若い夫婦など約百五十人が集まった。ビデオによる「カエル村」の状況説明のあと、食品



百五十人が集まった。自然健康法を学ぶ夏のつどいが行われ、集まった人たちはノートにメモを取りながら真剣に話を聞いていた。その後、民謡を聴いたり、カエル村製の手づくり